

令和元年度 那須塩原市議会

総務企画常任委員会

～政策提言又は政策立案に向けた委員会活動における中間報告～

令和2年(2020年)5月

はじめに

- 那須塩原市議会基本条例検証において、政策・提言のシステム化（「課題等抽出」「調査・研究」「立案・提言」の段階区分等）の必要性が浮き彫りとなり、システムの構築を進めてきたところである。これを受けて、常任委員会においても政策形成サイクルに位置付けて、課題・問題を抽出しテーマを設定したうえで、政策の提言・立案へと繋げていくものである。尚、テーマ設定に当たっては、委員の任期である 2 年間で設定した。本書は 1 年間の取組の中間報告を行なうものである。

1 テーマ設定

- 任期（令和元年 5 月～令和 3 年 4 月）の間に取り組むテーマを下記のとおり委員会（6 月定例委員会）で決定。
 - I 「移住・定住の促進について」
 - II 「自治会・コミュニティのあり方について」
 - III 「防災・減災の取組について」
 - IV 「シティプロモーションの取組及びシティセールスの促進について」

テーマ設定根拠〔課題・問題抽出〕

- I 本市の人口は、平成 24 年 2 月 1 日現在の 117,911 人をピークに平成 2 年 3 月 1 日現在 115,934 人と減少している。
- II 本市の自治会加入率は、黒磯地区 79 組織 62.8%、鍋掛地区 14 組織 54.3%、東那須野地区 27 組織 57.7%、高林地区 25 組織 50.2%、西那須野地区 30 組織 63.6%、塩原地区 15 組織 79.5%、箒根地区 26 組織 54.7%、加盟組織 216 組織 61.5%と加入率が低い。
- III 気候変動が原因と思われる豪雨等の自然災害が多発している。
- IV 本市には、明治の元勲が開拓した日本文化遺産、多彩・多量の湧出量の塩原温泉・板室温泉、生産量本州一を誇る生乳やコメ・イチゴ・ウド等の農産物、空気がきれいで煌びやかに輝く星、鮮やかな新緑、紅葉や鮎釣りのメッカの清流那珂川や箒川等風光明媚な自然等、多くの資源がある。
全国魅力度ランキングで 132 位と低迷している。

2 調査（所管事務調査等）の実施状況

令和元年6月

- I
- II
- III
- IV

令和元年9月

- I
- II
- III
- IV

令和元年12月

- I
- II
- III 「CO₂排出量実質ゼロ」宣言
- IV

令和2年3月

- I
- II
- III 気候変動対策局の設置
- IV

令和2年6月

- I
- II
- III 黒磯消防署新庁舎完成
- IV

令和2年9月

- I
- II
- III
- IV

令和2年12月

- I
- II
- III
- IV

令和3年3月

I

II

III

IV

■行政視察の実施

テーマに基づき、他自治体の先駆取組について調査研究

(※詳細は、行政視察報告書を参照)

- (1) 大牟田市地域コミュニティ基本指針について
 - ・福岡県大牟田市〔令和元年10月30日(水)〕
- (2) 「やまがメイト」を活用した行政情報等の配信について
 - ・熊本県山鹿市〔令和元年10月31日(木)〕
- (3) シティプロモーションの取組について
 - ・福岡県久留米市〔令和元年10月31日(木)〕
- (3) 定住促進事業の取組について
 - ・福岡県筑後市〔令和元年11月1日(金)〕

令和元年度

福祉教育常任委員会活動報告書

令和2年(2020)年5月

那須塩原市議会

1 活動報告

令和元年度（2019）年度、福祉教育常任委員会の主な活動は以下の通り

管内所管事務調査

○期 日 令和元年9月27日（金曜日）

調査項目 「子どもの通学路等における交通安全対策について」

場 所 第4委員会室

内 容 2019年5月、滋賀県大津市の交差点で保育園児の列に車が突っ込み、園児2人が死亡、保育士を含む14人がケガをした事故の報道を受け、本市における安全対策について、所管からの説明を受けた。本市においては、各保育園において、担当課、警察そして保育園長等で、保育園周辺の危険個所を点検し、情報の共有を行った。

○期 日 令和元年10月28日（金曜日）

調査項目 「常任委員会管外視察案件に伴う本市の状況について」

場 所 西那須野支所

内 容 管外所管事務調査（先進地視察）で

伺う自治体での取組を視察する前に、視察目的であるテーマ（ICT、不登校対策、貧困対策）についての本市の取組状況を所管する担当課より説明をしていた。き情報の共有を行った。

○期 日 令和2年2月10日（金曜日）

調査項目 「各種提出計画案件の事前説明について」

場 所 第4委員会室

内 容 3月定例会に上程される所管する4つの計画（那須塩原市教育施設長寿命化計画、第2期那須塩原市子ども・子育て未来プラン、第2期那須塩原市保育園整備計画、第2期那須塩原市放課後児童クラブ整備計画）について、所管する担当課から説明を受けた。

○期 日 令和2年3月16日（金曜日）

調査項目 那須塩原市図書館「みるる」図書搬入前の館内視察

場 所 那須塩原市図書館

内 容 令和2年7月1日グランドオープンの図書館について担当課より説明を受けた。

管外所管事務調査

○期 日 令和元年11月6日（水曜日）～11月8日（金曜日）

調査項目

- ・ ICT 教育について（いなべ市役所）【三重県いなべ市】
- ・ 不登校対策について（明石市役所）【兵庫県明石市】
- ・ ICT を活用した健康寿命延伸の取組について（神戸市役所）【兵庫県神戸市】
- ・ 子どもの未来応援ネットワーク事業について（門真市役所）【大阪府門真市】

※詳細は所管事務調査報告書を参照

2 福祉教育常任委員会の調査・研究テーマについて

2019年度から2年間について、それぞれ所管する分野に関する以下のテーマを設け調査に取り組んでいる。

現在一年目を終えたが、引き続きテーマについて意見交換等を取り入れ調査研究を続け、政策の提言に努める。

テーマ1. 「不登校対策について」 2年間

文部科学省は2019年7月2日、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律の施行状況に関する議論のとりまとめ」を公表した。本市においても様々な対策を講じており微減となっているが、日々状況が変わる中での対応について調査研究をする。

テーマ2. 「貧困対策について」 2年間

日本では、実に7人に1人の子どもが貧困状態にあるといわれている。子どもの貧困による社会的損失はとて大きく、子どもの成長自身にも大きな影響を与えてしまうことから、貧困対策について調査研究をする。

3 現状と課題

テーマ1. 本市の不登校対策の現状

	小学校		中学校	
	不登校児童数	出現率	不登校生徒数	出現率
H26年度	27名	0.41	158名	4.61
H27年度	22名	0.34	154名	4.50
H28年度	21名	0.33	130名	3.78
H29年度	26名	0.41	136名	4.07
H30年度	43名	0.68	131名	4.05

※本市の不登校児童生徒数（資料提供 学校教育課）

- (1) 児童・生徒指導体制の確立、市教委との連携
 - ア 各種研修会や連絡会議等の開催
 - イ いじめ不登校聞き取り調査（年3回）
- (2) 未然防止に向けた取組
 - ア 小中一貫教育（中1ギャップの解消）
 - イ hyper-QU推進事業
 - ウ 論理的思考力向上プロジェクト
- (3) 早期発見、早期対応に向けた取組
 - ア 月毎の欠席状況調査による学校と市教委の連携
- (4) 再登校・再発防止に向けた支援
 - ア 児童生徒サポートセンターの活用
- (7) 適応指導教室（ふれあい、あすなるへの通室）・教育相談員による家庭訪問
- 問(1) 宿泊体験館メープルの活用
- (5) 個別対応
 - ア スクールカウンセラー、不登校（その他の対応）の加配教員の配置
 - イ 市採用教師の配置、教育支援カウンセラー、心の教室相談員の配置
 - ウ 専門医による医療相談
 - エ スクールソーシャルワーカーの配置・関係機関との連携

課題

1. 子ども達のサインを見逃さないための方法について
2. 不登校となった児童生徒の原因別の対応について。
3. 教員の不登校傾向及び不登校児童生徒に対する理解について。

4. 不登校のために学校で勉強する機会を失ってしまった児童、生徒に対して、学校への登校を強制せず、それぞれにあった学習環境を保障するため『教育機会確保法（義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律）』が定められたことによる対応について

テーマ2. 貧困対策

本市では、現状の取組みとして

- ・教育支援や経済的支援
- ・生活の安定に資するための支援
- ・保護者の自立に向けた支援

を行っている。

また、那須塩原市子育て世帯の生活実態調査を行い、家庭環境等の状況の把握を行っている。

課題

- ・貧困についての情報の共有について
- ・困窮家庭への支援制度の拡充について
- ・民間等への支援について

4 報告会等での主な市民の声

○今後テーマに沿って関係する方々や市民との意見交換を予定している。

5 調査のまとめ

テーマ1. 不登校対策については、先進的な取組を行っている他自治体での取組や今後行う意見交換をもとに、調査研究をすすめ、委員会にて協議し提言に結び付けていきたい。

テーマ2. 貧困対策については、子どもの居場所をつくための取組みが民間団体で行われている。今後、実態を調査し、どのような対策ができるかを委員会にて協議し、提言に結び付けたい。

令和元年度

建設経済常任委員会活動報告書

令和2年(2020)年5月

那須塩原市議会

1 活動報告

令和元年度（2019）年度、建設経済常任委員会の主な活動は以下の通り

管内所管事務調査

- 期 日 令和元年6月26日
調査項目 「資源物売払い金の収入未済について(廃棄物対策課)」
場 所 第2委員会室
内 容 資源物等売払金の収入未済について担当課に説明を受けた。
- 期 日 令和元年6月21日（金）
調査項目 ・まちなか交流センター 追加工事の状況調査
・（仮称）駅前図書館 建設状況調査
・黒磯水処理センター 建設状況調査
・塩原水処理センター 監視制御設備工事業務委託調査
場 所 まちなか交流センター、（仮称）駅前図書館、黒磯水処理センター
塩原水処理センター
内 容 開館に向けて準備作業をしている中で追加工事が必要となった、まちなか交流センターの工事の状況、建設中の（仮称）駅前図書館の進捗状況、新築完成間近の黒磯水処理センターと監視制御設備システム改修の塩原水処理センターについて担当課より説明を受けた。
- 期 日 令和元年7月23日（火）
調査項目 「建設業協会・管工事・電設協会との意見交換会」
場 所 割烹石山
内 容 那須塩原市建設業協会、那須塩原電設協会、那須塩原管工事協同組合と意見交換会を実施し、各協会の現状と課題等調査した。
- 期 日 令和元年8月30日（金）
調査項目 信号機設置、道路要望状況、県道黒磯田島線要望活動について
場 所 第2委員会室
内 容 常任委員会の調査・研究テーマ『市民目線の道路整備』について、「信号機設置の要望状況」を生活課から、「道路の要望状況」を道路課から説明を受けた
県道黒磯田島線の要望活動について担当課から説明を受けた。

- 期 日 令和元年9月20日（金）
 調査項目 ・第2期最終処分場の工事状況について
 ・鳥野目浄水場 老朽化している施設の現状と課題について
 ・那須高林産業団地 造成工事状況確認
 場 所 第2期最終処分場、鳥野目浄水場、那須高林産業団地
 内 容 令和3年4月から供用開始となる一般廃棄物最終処分場の建設工
 事の進捗状況、老朽化している鳥の目浄水場の長寿命化を図るた
 めの現状と課題について、造成中である那須高林産業団地の現場確
 認と今後の販売方法について、担当課から説明を受けた。
- 期 日 令和元年10月9日（水）
 調査項目 塩原温泉活性化推進協議会との意見交換会
 場 所 第2委員会室
 内 容 塩原温泉の活性化について意見交換会を実施した。
- 期 日 令和元年12月3日（火）
 調査項目 ・議案に上程された『公の施設の指定管理業者の指定について』
 常任委員会所管である、鳥野目河川公園、板室健康のゆグリー
 ングリーン、板室自然遊学センターを調査する
 ・台風19号で被害を受けた道路の復旧について
 場 所 鳥野目河川公園、板室健康のゆグリーングリーン、板室自然遊学
 センター、台風19号被害道路（堰場ダム線、元湯線、赤川線）
 内 容 業務委託をしている上記施設の指定管理者と市の担当課から説明
 を受けた。台風19号の被害を受けた堰場ダム線、元湯線、赤川
 線の道路の被害状況と復旧状況について現場確認と担当課から説
 明を受けた。
- 期 日 令和2年2月3日（月）
 調査項目 条例（太陽光、自転車）、計画（気候変動、道路修繕）勉強会
 場 所 第2委員会室
 内 容 3月定例会に上程される条例と計画の説明を担当課から受けた。
- 期 日 令和2年3月11日（水）
 調査項目 ・道の駅湯の香しおばらについて
 ・市道新南、下中野線現場について
 場 所 道の駅湯の香しおばら、市道新南・下中野線
 内 容 『那須塩原市地域資源総合管理施設条例の一部改正について』議
 案調査のため、道の駅湯の香しおばらで担当課から説明を受けた。
 台風19号による蛇尾川増水のため工事が中断されていた市道新
 南・下中野線の高架工事の状況調査をした。

管外所管事務調査

○期 日 令和元年10月6日（水曜日）～11月8日（金曜日）

調査項目

- ・大崎町ゴミ減量（大崎町役場）【鹿児島県大崎町】
- ・都城市六次産業化（都城市役所）【宮崎県都城市】
- ・都市再生整備計画都城市立図書館（中心市街地中核施設 Mallmall）
【宮崎県都城市】
- ・霧島市企業誘致の取組について（鹿児島県霧島市役所）【鹿児島県霧島市】

※詳細は所管事務調査報告書を参照

2 建設経済常任委員会のテーマ

本市の基幹産業である農業は、遊休農地の増加、農家の担い手不足などの承継の問題など年々深刻化している。当委員会は、第一次産業を活用した那須塩原産のブランド力向上を図るために、農業の6次産業化の推進と遊休農地の利活用や、首都圏住民の2拠点住居の推進とクラインガルテンによる交流、農福連携事業や観光農園による世代間や地域間を超えた交流を活発化させることにより遊休農地の活用と担い手不足の課題に取り組むための調査研究をしていくこととした。

また、人の流れや物流に供する道路行政を調査することにより、豊かなまちづくり、那須塩原市全体の市民の利便性向上に向けた研究をしていく。

現在造成中である高林工業団地に雇用創出のための企業誘致について、環境問題への取組としてごみの減量化リサイクル推進の研究をしていくこととした。

テーマ1. 「魅力ある農観商工への挑戦」 2年間

- 有機農法（オーガニック）
- クラインガルテン（ドイツにおける農地の賃借制度）
- 遊休農地の活用（観光振興、交流、2拠点居住、空き家活用）
- 農業発展（那須塩原ブランドの価値向上、6次産業、担い手支援、農福連携）

テーマ2. 「未来志向の都市づくり」 2年間

- 那須塩原駅周辺の再整備と新庁舎建設
- 企業誘致

テーマ3. 「ゴミ減量対策」 2年間

- ゴミ減量化
- 不法投棄防止
- リサイクル

テーマ4. 「市の観光施設管理の在り方について」 2年間

- 板室温泉グリーングリーン等
- 総務企画常任委員会所管となる施設（箱の森プレイパーク、湯っ歩の里、もみじ 谷大吊橋等）

テーマ5. 「市民目線の道路整備」 1年間

- 道路整備及び修繕
- 通学路（修繕）
- 市内の事故調査
- 右折困難交差点の解消

3 現状と課題

テーマ1. 魅力ある農観商工への挑戦…担い手不足、遊休農地の増加、気候変動による農作物への影響、本市の観光、農業、商業の魅力の発信不足

テーマ2. 未来志向の都市づくり…大学進学などで地元を離れた子どもたちがUターンし就業出来る環境がないため、若者の流出が課題である。高林産業団地造成による企業誘致をするとともに那須塩原駅周辺も活性化が必須である

テーマ3. ゴミ減量対策…現在の一般廃棄物処分場が満杯になることから第二次廃物処分場設置工事が始まり、ゴミ処理場延命するためにも家庭系ごみのリサイクルと資源ごみと可燃ごみの分別を実施することが課題である

テーマ4. 市の観光施設管理の在り方について…板室温泉にある市の温泉施設【グリーングリーン】は施設の修繕管理費が増額しているが、70歳以上の市民は無料としている為、収益が上がらない上、顧客が固定化している。新規の観光客などからは、利用しにくいなどの声がある。

テーマ5. 市民目線の道路整備…大規模商業施設の進出による交通渋滞、道路の修繕や拡幅により利便性が高まると考えられる市道に市政懇談会などで整備の要望があるが未整備道路がある。

4 報告会等での主な市民の声

1. 魅力ある農観商工への挑戦

- ① 温泉をもっと周知すべき。駅に足湯を。
- ② 多様な特産品。（牛乳、牛肉、乳製品、野菜）
- ③ 遊休農地を活用して高齢者の居場所づくり。
- ④ 高齢者がみんなで野菜をつくり自給率を上げる。

2. 未来志向の都市づくり

- ① 那須塩原駅西口のロータリーが、送迎や土日の観光客にとっても危険、整備する計画はあるのか。
- ② 駅前(西口、東口)の活性化。
- ③ 雇用環境がもっと充実していれば 地元に残る。
- ④ 駅前に滞在できるような仕組みをつくってほしい。
- ⑤ 駅前从那須など観光地への交通アクセスをよくしてほしい。

3. ゴミ減量対策

- ① ゴミ出しについて対策を。

4. 市民目線の道路整備

- ① 国体道路(ヨークベニマル交差点付近)、唐杉街道が大変に渋滞、議会で取上げ県に要望してほしい。
- ② 渋滞の実態調査⇒方法論が出てくる⇒計画を作る
- ③ 交通整理に警察を。(散歩のコースになっている)
- ④ 道路計画を水面より上に上げるべき。

5 調査のまとめ

- ① テーマ1. アグリパル塩原のリニューアル、そすいの郷、青木道の駅などをはじめとした6次産業化の中心施設があり、生乳生産本州一の生産量を誇る本市は、那須塩原ブランドの向上と6次産業のさらなる発展を推進する資源が豊富に存在することから、地域住民の雇用促進と農福連携の推進などさまざまな課題解決のためにも、調査研究を進めていく。
- ② テーマ2. 新庁舎建設に伴う那須塩原駅周辺まちづくりが開始されるため今回の調査で終了とする。
- ③ テーマ3. 大崎町の取組を参考にごみ減量を推進しリサイクルを図る必要があるが、本市においては人口規模の相違と現在の分別が徹底される市民の意志の向上が必要であることから今回の調査は終了とする
- ④ テーマ4. 観光施設は委託が多数を占め所管外となるため、所管である【グリーングリーン】の管内事務調査を実施し、利用料金改正に伴う条例を改正したため調査は終了とする。
- ⑤ テーマ5. 令和元年8月、道路整備と要望の多い交差点に信号機設置の考えと今後の計画などについて研究するため、勉強会を実施した。令和2年3月

に制定した「那須塩原市道路舗装修繕基本計画」は「那須塩原市公共施設等総合管理計画」の「個別施設計画」として、効率的・計画的な維持管理を適切に行うため「事後保全型」から「予防保全型」への管理手法を転換し、今後、計画的に道路舗装修繕されるため、このテーマについては調査研究を終了とする。